

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

資料1-1

(別添1)

協議会名: 犬山市地域公共交通会議

令和5年1月 日

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C・評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
あおい交通株式会社	栗栖・富岡線	コロナ禍において利用者が減少しているが、減少率はコロナ禍前の事業年度との比較で約18%減にとどまっており、コロナ禍においても移動が必要な人の交通手段として機能していると考えられる。 更なる利用者数の増加を目指すため、下記の対応を行い、利便性を増加させる。  【対応策】 ・乗車に関する利便性向上 キャッシュレス決済の導入 Googleマップへの反映 ・低年齢層への利用促進 長期休暇期間の無料乗車の実施 案内文(チラシ)で周知を図る ・高齢者層への利用促進 車内掲示・チラシの改善 路線の見直し	A	利用者数による年間目標値11,520人に対して12,144人の実績であり目標は達成。【達成率:105%】  A 栗栖方面への観光利用(寂光院・桃太郎神社等)が昨年度より回復してきている。また、買い物・通院等移動が必要な人の交通手段としてはコロナ禍でも一定の利用があり、生活を支えとなっている。	【目標】 年間利用者数(令和4年6月30日生活交通確保維持改善計画より) ①補助金対象外路線含む計8路線:104,280人以上の維持 ②補助対象路線別目標 栗栖・富岡線:11,660人以上 上野線:14,080人以上 今井・前原線:19,690人以上 楽田東部線:5,170人以上 善師野・塔野地線:17,710人以上 内田線:8,690人以上 (補助対象外路線) 楽田西部線:8,250人以上 入鹿・羽黒線:19,030人以上 ※期間:R4.10.1~R5.9.30	
	上野線		A	利用者数による年間目標値12,870人に対して14,712人の実績であり目標を達成。【達成率:114%】  A 観光等娯楽施設が少ない路線であり、コロナ禍においても減少率は他路線に比べると少なかった。買い物・通院を控えていた方の利用が戻りつつある状況である。	【目標に対する考察】 コロナ禍において利用者が減少したが、減少率はコロナ禍前の事業年度との比較で約18%減にとどまっており、コロナ禍においても移動が必要な人の交通手段として機能していると考えられる。また、コロナが落ち着きつつあり、利用者数は回復傾向に転じている。	
	今井・前原線		A	利用者数による年間目標値17,910人に対して18,747人の実績であり目標は達成。【達成率:104%】  A 市民健康館や総合犬山中央病院への利用が昨年度より回復している。また、買い物・通院等移動が必要な人の交通手段としては一定の利用があり、生活を支えとなっている。	H30.10~R1.9 115,184人 R1.10~R2.9 102,547人 R2.10~R3.9 94,201人 R3.10~R4.9 102,701人 回復傾向にあるが、生活様式の変化等により、完全にコロナ前の利用水準に戻ることは厳しい状況にある。事業継続のため、更なる利用促進を図っていく必要がある。また、コミュニティバスだけではなく、公共交通全体での利用促進を図る必要がある。	
	楽田東部線		A	利用者数による年間目標値5,130人に対して5,207人の実績であり目標を達成。【達成率:101%】  A コロナ禍に伴う移動自粛等制限のため、総合犬山中央病院への利用が減少していたが、昨年度と比べると回復してきている。また、買い物・通院等移動が必要な人の交通手段としては一定の利用があり、生活を支えとなっている。	【改善策】 ・わん丸君バスにおけるバス券の改善 ・わん丸君バス楽田東部線におけるルート、バス停等の見直し ・新たな交通手段を検討するため、デマンド交通実証実験の実施 ・公共交通計画を策定するにあたり、関係者間で協議を重ね、公共交通全体での課題整理や課題解決のための事業等を検討していく。	
	善師野・塔野地線		A	利用者数による年間目標値13,590人に対して15,702人の実績であり目標は達成。【達成率:115%】  A テレワーク等の普及による通勤利用者の減少と、市民健康館内の入浴施設が度々休館となったため、目標は達成したが、前年より利用者数は減となった。		
	内田線		A	利用者数による年間目標値8,370人に対して9,109人の実績であり目標を達成。【達成率:108%】  A 犬山城方面へ向かう観光利用が昨年度よりは回復してきている。また、買い物・通院等移動が必要な人の交通手段としては一定の利用があり、生活を支えとなっている。		